

「把」構文の用法

HSK3,4級に出てくる「把」構文とは何か？

「把」構文とは…目的語に対して「どのようにして、どのようになったか」を強調します。「把」は品詞としては「跟」「从」「对」と同じ介詞にあたります。説明だけ聞くと難しそうですがまずは簡単に次のように考えましょう。

我+把那本书+看完了。

私は+あの本を+読み終えた。

上の例文で日本語と中国語の語順が一致していることに気づきましたか？中国語は基本SVO、日本語はSOV方式の言語ですから動詞（V）と目的語（O）の位置は相互に異なります。このように

『「把」構文は中国語のSVO文型を日本語と同じSOV文型にして書くことができるもの。』

と覚えておきましょう（並べ替えで役立ちます）。他にも例文として

我把这间房间收拾干净。	私はこの部屋をきれいに片付けた。
我把桌子上的东西收起来了。	私は机のものを片付けた。

しかしながら「把」構文には色々と注意事項があります。

- 1：述語部分は改良が必要で裸の動詞は使えない
- 2：特定のものしか使えない
- 3：話し手が互いに既知のものにしか使えない



少し難しく感じるかもしれませんが下の例題を一つ一つ見ていき理解を深めていきましょう。

1：「把」構文の述語部分の種類

この項では「把」構文の述語部分の種類（主要5種）について細かく見ていきます。先程の注意点で「把」構文の述語部分は改良が必要で裸の動詞は使えないと言いましたが、では実際にどのように述語部分をいじれば良いのでしょうか？

①動詞に補語をつける

補語には結果補語・方向補語・様態補語などがありますがそれら補語を使うことで「把」構文に処置を加えたことにできます。例えば

<<結果補語>>	她把苹果吃掉了。 彼女はリンゴを食べてしまった。
<<方向補語>>	小李把词典放进书包里了。 李さんは辞書をカバンの中に入れた。
<<様態補語>>	你把饭做得好吃点，行吗？ もうちょい飯をうまく作ってくれ、いいか？
<<時量補語>>	小王把这个人上下打量了半天。 王さんはあの人を上から下まで暫く見つめていた。

ちなみに「把」構文では一般に可能補語は使えません。可能補語は「できるか・できないか」を表す、要は不確実性が伴うのに対して「把」構文は確実性を表すため性質上両立しないからです。

②完了の「了」をつける

次は「動作がすでに完了してしまった」という意味を表す「了」を使った表現です。これによっても述語部分に処置を表したことを意味します。

1	我爸爸把那次机会放弃了。	父はその時のチャンスを諦めてしまった。
2	我把那个房间收拾了。	私はあの部屋を片付けました。

③動詞を重ね型にする

動詞を重ね型にすることで「試しに～してみる」という意味合いが生まれます。

1	你们把现代日本政治的问题考虑考虑。	皆さん現代日本政治の問題についてちょっと考えてみましょう。
2	请你把房间打扫打扫吧。	部屋をちょっと掃除してください。

④「動詞＋目的語」の形にする

「把」は普通、語順の文を置き換えて目的語を前に持ってくる形と理解されがちです。（実際それは間違いではありません）しかし時には下の例のように動詞部分に目的語を付け加えて処置の意味を強調することがあります。こうした例のときは普通の語順に戻すことはできません。（に十目的語をとる動詞はそれが可能です）

1	我要把我的心意告诉你。	僕の気持ちを君に伝えたいと思います。
2	我把这本书给你。	この本をあなたにあげます。

⑤持続の「着zhe」をつける

動作の持続を表す「着」を動詞の後ろにつけることも動作に処置を加えたことを意味します。

1	我弟弟总是把门开着。	弟はいつもドアを開けたままにしている。
2	你把这本书拿着！	この本を持っていてください！

2：特定のものしか使えない

次の注意事項は「把」構文は特定のものしか使えず、限定語で修飾しているものしか使えません。数量詞は単に数を表すだけで、特定のものを示していないので使えません。

✕ 我把一个苹果吃了。
◎我把那个苹果吃了。

3：話し手と聞き手が互いに既知のものにしか使えない

先ほど特定のものにしか使えないと言いましたが文脈上判断可能なもの、また話し手と聞き手が互いに知っているものであれば限定語をわざわざ入れなくてもOKです。例えば。

我把窗户关了。	私は窓を閉めた。
→どの窓かは言っていないがこの場合はお互いに判断可能であることが前提	

「把」構文の否定文・疑問文

把構文の否定形は一般に「没/没有」を使って表します。「不」を使った否定もあるにはありますが特殊な場合に限られ「もし～をしなければ…」と仮定を表す際に使われます。

1	我没把手机带来。	私は携帯を持ってこなかった。 (忘れた)
2	爸爸对我说, “你不把青椒吃了, 就不能上学!”	父は私に「ピーマンを食べないなら、学校に行くな!」と言った。

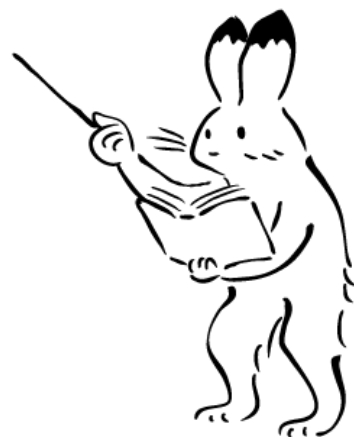
疑問文は一般に普通の動詞述語文と同様「吗?」「反復疑問文」「～了没有?」があります。

	日：数学の課題やり終えましたか?
吗?	你把数学作业做完了吗?
反復	你把没把数学作业做完了?
～了没有?	你把数学作业做完了没有?

「把」構文+助動詞

助動詞も副詞同様に「把」の前に置きます。

1	你应该把今天的作业做完。 君は今日の宿題を終わらせるべきだ。
2	我们不能把该做的事往后拖。 私たちはやるべきことを後回しにしてはいけない。
3	不要把你的想法强加于人。 あなたの考えを人に押し付けてはいけない。



「把」構文を使うべき頻出の文章とは？

いくつかありますが頻出なのはこの3つ

- ①人物や事柄の位置・場所的变化を引き起こす場合—「SはOをLに移動させる」
- ②動作主が動作を通して動作対象に何かしらの変化を引き起こす場合—「SはOをEに変える」
- ③～を～と認める、みなす—「SはOをPとみなす」

①のケース（把+何か+放在/还给/送去/拿回/带进/写在～場所）

1	把脏衣服放进洗衣机吧。 汚れた服を洗濯機に入れなさい。
2	我们已经把新单词记在脑子里了。 私たちはすでに新しい単語を記憶した。
3	我下周要把书还给图书馆。 私は来週本を図書館に返さなくてはならない。

②のケース（把+何か+换成/变成/弄成/做好/写成/分为など）

1	有人能把我说出的中文翻译成日语吗？ 私の言った中国語を日本語に訳してくれる方はいますか？
2	那个学生把日语汉字的「鈴」字写成了中文汉字的「铃」。 その生徒は日本の漢字の「鈴」という字を中国語の「铃」と書いてしまった。
3	高桥同学把「请问」的发音发成了「请吻」。 高橋くんは「すみません」という発音を「キスしてください」と発音してしまった。

③のケース（把+何か+看作/当作～）

1	我爷爷把台湾看作第二故乡。 私のおじいちゃんは台湾を第二の故郷とみなしている。
2	我把老张当作人生赢家。 私は張さんを人生の勝ち組だと思っている。